

(質問)

新規需要米について

米粉用の原料がトンあたり8万円で、主食用が24万円くらいなので、差し引き16万円くらい。国の支援が10アールあたり5万5千円とあり、だいたい愛知県の反収で507~8kgくらいなんです。20アールで11万円くらいの計算になる。米粉用原料米は、足していっても19万円くらいでそれ以上もらえないということになるが、農業で生計を立てている農家に対して推進はしているが、主食用との差をどのように説明していけばいいのか、農家にどのようなメリットがあるのか、また、算定基準等の考え方も教えてもらいたい。

(回答)

1 米粉用米の栽培については、稲作農家にとって、

- ① これまでの稲作の栽培体系と同じで取り組みやすい
- ② 農機具について、新たな投資がいらぬというメリットを有している。

一方、主食用米に比べて販売価格が低いことから、持続的に取り組んでいくためには、多収性品種の導入や直播栽培等による低コスト生産を行うことが重要となっている。

2 平成21年度当初予算における水田等有効活用促進交付金では、同じ原料用米である加工用米並の収入が得られる水準とするという考え方にに基づき、米粉用米の作付に対して55,000円/10aの助成を行うとともに、この助成に際して、直播栽培等の低コスト生産に向けた技術導入を推進し、生産性の向上を図ることとしているところである。

3 これに加え、「水田フル活用元年」の取組として、実需者とのマッチングや流通の合理化等を緊急的に進め、需要に結びついた米粉用米の生産を進めるべく、平成21年度補正予算において25,000円/10aの追加支援を行うこととしたところである。

4 米粉用米のメリットを十分周知するとともに、これらの支援を講じることで米粉用米の生産・流通の取組を軌道に乗せ、着実に生産拡大が図られるよう取り組んでまいりたい。

(質問)

食料自給率について

ごはんをもう1口、国産小麦を使ったうどんを3杯ほど食べると1%上がりますと話がありました。これは単によけいに食べるのではなく、何かと何かを置き換えていってパーセンテージを上げていくことになると思うが、この発想で正しいのか、また、正しいとしたら何と何を置き換えていくと1%あがるのか具体的に教えて欲しい。

(回答)

国民の皆様全員が原材料を輸入している食料品に代えて、ごはんを1食につきもう1口、もしくは国産小麦を使用したうどんを月に3杯食べると食料自給率が1%上がります。